



6/9 Hirado City Photo News
伝統の踊りと歌声を披露



田助小学校体育館で、田助ハイヤ節披露会が開催されました。田助ハイヤ節保存会の皆さんが、太鼓や三味線の軽快なリズムと力強い歌声に合わせた踊りを披露し、観覧した地域の皆さんから大きな拍手が起こりました。

また会場には、風神社中の皆さんが、「ひらんど夜明け」の迫力の演舞で来場者を魅了。

その後の来場者も加わった総踊りでは、小学生のころに「田助ハイヤ節」と「平戸音頭」を踊った地域の皆さんは、懐かしそうに笑顔を浮かべていました。

6/2 Hirado City Photo News
平和への祈りのハーモニー



平戸文化センターで、「さとうきび畑こんさあとin平戸」が開催されました。

「ざわわ〜」のフレーズで有名な楽曲「さとうきび畑」で知られる作曲家の寺島直彦氏の没後20周年を偲び、6年ぶりに開催されたものです。

寺島氏の妻・寺島葉子さん、長女・寺島夕紗子さんをはじめ、平戸市出身の歌手・松崎京さんも所属する寺島氏の弟子たちのグループ「緑陰会」、「アンサンブル・テラ」の皆さんと、平戸市合同合唱団や平戸中学校吹奏楽部が競演しました。

5/25 Hirado City Photo News
三浦按針の功績を偲んで



崎方公園で、徳川家康の外交顧問として重用され、平戸で生涯を終えた三浦按針ことウィリアム・アダムスを偲ぶ「第29回按針忌」が開催され、オランダ王国のテオ・ペータス駐日臨時代理大使、ウィリアム・アダムス・クラブのティモシ・ミントン会長、臼杵市の皆さんの出席のほか、イギリス・オランダ両国から献辞が寄せられ、参列者も墓石前に故郷イギリスの国花であるバラを献花しました。

その後、オランダ公園に場所を移して、オランダ人慰霊碑献花式も行われました。

5/25~26 Hirado City Photo News
新酒を飲み比べ



森酒造場で蔵開きが行われました。蔵開き限定酒の販売や酒蔵見学、利き酒大会も開催され、両日とも、平戸の地酒を求める人たちににぎわいました。

会場となった酒蔵では、「蔵開きライブ」も開催され、来場者の皆さんは、市内で活動するバンド「るびなす+」「BLOWS」の皆さんの歌声を聞きながら、新酒を味わっていました。

また今回、長崎県立大学田代ゼミに所属する学生の皆さんが、事前のPR動画制作から当日の和牛串販売まで、イベントをPRしました。

6/15 Hirado City Photo News
10周年を迎えた芸術祭



第10回コラスまつりが開催され、未来創造館で水彩画、書道、クラフトテープ、ガラスアート、ペン字などの作品が展示されました。

15日(土)には図書館イベントとして、おはなし会や工作教室が、16日(日)には平戸文化センターで「いけばな草月流」花展や、詩吟、尺八、フラダンス、合唱や、田助ハイヤ節糸の会の田助ハイヤ節の披露、大塚ヘルシーサークルのダンスなどの舞台発表のほか、もちまきや焼きそばの振る舞いなども行われ、会場はたくさんの人でにぎわいました。

6/12 Hirado City Photo News
国内初の視察は平戸へ



オランダ王国のヒルス・ベスコフ・ブルッフ次期駐日大使(※)夫妻が、平戸市を訪問しました。

ヒルス・ベスコフ・ブルッフ次期大使は、5月末、前任地のロシア・モスクワから来日したばかりで、日本国内の視察は今回が初めて。松田副市長を表敬訪問した後、平戸オランダ商館と松浦史料博物館を視察し、「オランダでも、日蘭交流の歴史といえば、出島の認知度が高い。しかし、日蘭交流の原点は平戸なので、最初の視察地には長崎市ではなく平戸市を選んだ」と述べました。 ※役職は訪問時点のもの

5/31 Hirado City Photo News
ダンスがつなぐ「心と心」



大島中学校体育館で、ダンス&ボーカルグループ「GENERATIONS」のパフォーマー 中務裕太さんと大島小・中学校の児童・生徒が、ダンスで交流を深めました。

NHK長崎のニュース情報番組「ぎゅっと!長崎」内の「よかね!島めぐり」コーナーの一場面として収録されたもので、前日からダンスレッスンを受けた中学生の皆さんが、中務さんとの共演でダンスショーを開催。子どもから大人まで大興奮で、会場のボルテージは最高潮に達しました。

5/28 Hirado City Photo News
介護を担う人材を応援



平戸市役所3階会議室で、令和6年度平戸市介護職人材確保支援事業賞賜金交付式が行われました。この事業は、市内における介護職の人材確保のため、平成30年度から行われています。

今回は、新規就業者3人と継続勤務者4人、計7人の介護職従事者に、市長が賞賜金を交付し激励しました。

交付された小田絵美莉さんは「介護職を増やすために私たちからも介護職の魅力を発信していきたい」と抱負を述べました。